

島根県農業経営基盤強化促進基本方針

(別 表)

1. 効率的かつ安定的な農業経営の基本的指標
2. 新たに農業経営を営もうとする青年等が目標とすべき農業経営の基本的指標

1 効率的かつ安定的な農業経営の基本的指標

島根県農業経営基盤強化促進基本方針の第1の3の(1)効率的かつ安定的な農業経営の基本的水準で示した目標(年間所得概ね400万円、年間総労働時間概ね2,000時間)の達成を可能とする経営類型の例示は、3のとおりとする。

なお、基本的指標で示す農業経営体の概念については、以下のとおりとする。

(1) 個別経営体	個人(世帯)で農業が営まれている経営体であって、主たる農業従事者が他産業従事者と均衡する年間総労働時間と地域その他産業従事者並みの年間所得水準を確保できるような農業経営を行い得るもの。
(2) 組織経営体	農業経営体のうち個別経営体に該当しない者であって、主たる農業従事者が、他産業従事者と均衡する年間総労働時間と地域その他産業従事者並みの年間所得水準を確保できるような農業経営を行い得るもの。

2 新たに農業経営を営もうとする青年等が目標とすべき農業経営の基本的指標

新たに農業経営を営もうとする青年等が目標とすべき農業経営の基本的指標は、3に掲げる経営類型の例示のとおりとする。ただし、所得目標については、主たる従事者1人あたりの年間所得概ね280万円(1に掲げる効率的安定的な農業経営の基本的水準の7割)とする。

なお、農業経営体としては、個別経営体及び組織経営体とする。

※1、2の基本的指標については、社会情勢の変化等に適応したものとするため、必要に応じて適宜見直すものとする。

3 各地域共通

(1) 個別経営体

経営類型	経営規模	生産方式
① 施設野菜 (アスパラガス)	<p><作付規模等> アスパラガス 43.2a</p> <p><経営面積> 水田 43.2a (うち借地 0a)</p>	<p><主たる資本装備></p> <ul style="list-style-type: none"> ・作業舎兼格納庫 (39㎡) 1棟 ・パイプハウス (360㎡) 12棟 ・灌水施設 3台 ・冷蔵庫 1台 ・管理機 1台 ・動力噴霧機 1台 ・運搬車 (クローラ式) 1台 <p><その他></p> <ul style="list-style-type: none"> ・ハウス栽培を行うことで、病害虫の発生を抑える ・共同選果場へ出荷
② 施設野菜 (ミニトマト) + 露地野菜 (キャベツ)	<p><作付規模等> ミニトマト 64.0a キャベツ 50.0a</p> <p><経営面積> 水田 82.0a (うち借地 0a)</p>	<p><主たる資本装備></p> <ul style="list-style-type: none"> ・作業舎兼格納庫 (66㎡) 1棟 ・パイプハウス (400㎡) 8棟 ・灌水ポンプ 3機 ・農用井戸 1箇所 ・養液栽培システム 1式 ・システム養液装置 (7.5ps) 1機 ・動力噴霧器 1台 ・培地 1式 ・運搬車 1台 ・ミニトマト選果機 1台 ・サイドリッシャー (1.5m) 1機 ・ライムソワー 1機 ・半自動定植機 1機 ・高床式作業車 (4ps) 1機 <p><その他></p> <ul style="list-style-type: none"> ・ミニトマトは養液栽培による2期作 (半促成栽培 + 抑制栽培) を実施

経費管理の方法	農業従事の態様等	労働力
<ul style="list-style-type: none"> ・複式簿記の記帳により、経営と家計の分離を図る。 ・青色申告を行う。 ・PCを活用した経営管理 ・自己資本の充実を図る。 ・経営体内部の役割分担を図る。 ・「安全で美味しい島根の県産品認証制度」の生産工程管理基準又は国際水準GAPに基づく農場管理に取り組む。 	<ul style="list-style-type: none"> ・休日制や給料制を実施して、労働環境の充実を図る。 ・休息時間の確保、薬剤散布時の保護具の着用等により、作業の安全を確保する。 ・作業を快適とするため、補助具の設置や換気等作業環境の改善を行う。 	<ul style="list-style-type: none"> ・主たる従事者 1人 ・補助従事者 0人 ・年間雇用者 2人
<ul style="list-style-type: none"> ・複式簿記の記帳により、経営と家計の分離を図る。 ・青色申告を行う。 ・PCを活用した経営管理 ・自己資本の充実を図る。 ・経営体内部の役割分担を図る。 ・「安全で美味しい島根の県産品認証制度」の生産工程管理基準又は国際水準GAPに基づく農場管理に取り組む。 	<ul style="list-style-type: none"> ・休日制や給料制を実施して、労働環境の充実を図る。 ・休息時間の確保、薬剤散布時の保護具の着用等により、作業の安全を確保する。 ・機械による事故を防止するため、運転日誌や点検・整備日誌等を作成し、記帳に基づいた適正な管理を行う。 ・作業を快適とするため、補助具の設置や換気等作業環境の改善を行う。 	<ul style="list-style-type: none"> ・主たる従事者 1人 ・補助従事者 0人 ・年間雇用者 4人

経営類型	経営規模	生産方式
③ 有機施設野菜	<p><作付規模等></p> <p>ほうれんそう 75.0a</p> <p>小松菜 90.0a</p> <p>水菜 90.0a</p> <p>春菊 18.0a</p> <p>葉ねぎ 18.0a</p> <p><経営面積></p> <p>畑 54.0a (うち借地 30.0a)</p>	<p><主たる資本装備></p> <ul style="list-style-type: none"> ・作業舎兼格納庫 (66㎡) 1棟 ・パイプハウス (3.6a) 15棟 ・農業用井戸 1台 ・灌水ポンプ 1台 ・袋詰め機 2台 ・搬出コンベア 2台 ・播種機 1台 ・運搬車 1台 ・トラクター (20ps) 1台 ・肥料散布機 1台 ・予冷库 1台 <p><その他></p> <ul style="list-style-type: none"> ・有機栽培技術の習得 ・除草、病害虫対策の徹底 ・播種、収穫・調整等適期作業の励行
④ 酪農	<p><飼養規模></p> <p>経産牛 100頭</p> <p>育成牛 40頭</p> <p><作付規模等></p> <p>牧草地 500a</p> <p>飼料畑 500a (春夏作)</p> <p>スーダングラス (秋冬作)</p> <p>イタリアンライグ ラス</p> <p>混播牧草</p>	<p><主たる資本装備></p> <ul style="list-style-type: none"> ・畜舎 1棟 ・堆肥舎645㎡ 1棟 ・農機具庫250㎡ 1棟 ・ミルクパーラー 1基 ・バルククーラー (3,000ℓ) 1基 ・コンプリートフィーダー 1基 ・トラクター(70ps) 2台、(50ps) 1台 ・その他飼料作物栽培及び貯蔵用機械 一式 (ロールベアラー等) ・マニアスプレッダー 1台 <p><その他></p> <ul style="list-style-type: none"> ・良質な粗飼料生産を図る。 ・牛群検定により高泌乳牛の留保を図る。

経費管理の方法	農業従事の態様等	労働力
<ul style="list-style-type: none"> ・複式簿記の記帳により、経営と家計の分離を図る。 ・青色申告を行う。 ・PCを活用した経営管理 ・自己資本の充実を図る。 ・経営体内部の役割分担を図る。 ・「安全で美味しい島根の県産品認証制度」の生産工程管理基準又は国際水準GAPに基づく農場管理に取り組む。 	<ul style="list-style-type: none"> ・休日制や給料制を実施して、労働環境の充実を図る。 ・休息時間の確保、薬剤散布時の装備品装着等により、作業の安全を確保する。 ・作業を快適とするため、補助具の設置や換気等作業環境の改善を行う。 	<ul style="list-style-type: none"> ・主たる従事者 1人 ・補助従事者 0人 ・年間雇用者 4人
<ul style="list-style-type: none"> ・複式簿記の記帳により、経営と家計の分離を図る。 ・青色申告を行う。 ・PCを活用した経営管理 ・自己資本の充実を図る。 ・経営体内部の役割分担を図る。 ・「安全で美味しい島根の県産品認証制度」の生産工程管理基準又は国際水準GAPに基づく農場管理に取り組む。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ヘルパー制度等を活用して休日制を導入する。 ・家族経営協定締結に基づく休日制や給料制の導入 ・労働ピーク時の雇用対策を図る。 ・安全な作業を行うため、休息時間の確保や作業環境の改善を図る。 ・機械による事故を防止するため、運転日誌や点検・整備日誌等を作成し、記帳に基づいた適正な管理を行う。 	<ul style="list-style-type: none"> ・主たる従事者 3人 ・補助従事者 0人 ・年間雇用者 2人

経営類型	経営規模	生産方式
⑤ 肉用牛 (繁殖)	<飼養規模> 繁殖牛 40頭 育成牛 7頭 <作付規模等> 飼料畑 4.0ha (春夏作) スーダングラス (秋冬作) イタリアンライグ ラス	<主たる資本装備> ・畜舎240㎡ 2棟 ・堆肥舎96㎡ 1棟 ・農機具庫93㎡ 1棟 ・トラクター(38ps) 1台 ・その他飼料作物栽培及び貯蔵用機械 一式 (ロールベアラー等) ・マニアスプレッダー 1台 <その他> ・良質な粗飼料生産を図る。 ・1年1産技術の確立を図る。
⑥ 肉用牛 (繁殖・肥育 一貫)	<飼養規模> 繁殖牛 200頭 肥育牛 350頭 育成牛 33頭	<主たる資本装備> ・繁殖牛舎1,200㎡ 2棟 ・堆肥舎540㎡ 1棟 ・堆肥貯蔵施設180㎡ 2棟 ・農機具舎93㎡ 1棟 ・肥育牛舎1,012㎡ 2棟 ・飼料庫及び敷料庫50㎡ 1棟 ・尿溜180㎡ 1棟 ・パドック400㎡ 1棟 ・ほ乳ロボット(200頭用) 1基 ・トラック(4t) 1台 ・フロントローダー 1台 ・飼料運搬車 1台 ・高圧洗浄機 2台 <その他> ・1年1産技術の確立を図る。 ・「しまね和牛肥育の手引き」を活用する。

経費管理の方法	農業従事の態様等	労働力
<ul style="list-style-type: none"> ・複式簿記の記帳により、経営と家計の分離を図る。 ・青色申告を行う。 ・PCを活用した経営管理 ・自己資本の充実を図る。 ・経営体内部の役割分担を図る。 ・「農業生産工程管理（GAP）の共通基盤に関するガイドライン」に準拠した農場管理に取り組む。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ヘルパー制度等を活用して休日制を導入する。 ・家族経営協定締結に基づく休日制や給料制の導入 ・安全な作業を行うため、休息時間の確保や作業環境の改善を図る。 ・機械による事故を防止するため、運転日誌や点検・整備日誌等を作成し、記帳に基づいた適正な管理を行う。 	<ul style="list-style-type: none"> ・主たる従事者 1.5人 ・補助従事者 1人 ・年間雇用者 0人
<ul style="list-style-type: none"> ・複式簿記の記帳により、経営と家計の分離を図る。 ・青色申告を行う。 ・PCを活用した経営管理 ・自己資本の充実を図る。 ・経営体内部の役割分担を図る。 ・「安全で美味しい島根の県産品認証制度」の生産工程管理基準又は国際水準GAPに基づく農場管理に取り組む。 	<ul style="list-style-type: none"> ・給料制を導入する。 ・休息時間の確保など作業の安全を確保する。 ・機械による事故を防止するため、運転日誌や点検・整備日誌等を作成し、記帳に基づいた適正な管理を行う。 ・作業を快適とするため、補助具の設置や換気等作業環境の改善を行う。 	<ul style="list-style-type: none"> ・主たる従事者 2人 ・補助従事者 0人 ・年間雇用者 7人

経営類型	経営規模	生産方式
⑦ 水 稲 + 飼料米 + 作業受託	<作付規模等> 水 稲 12.0ha 飼料米 5.0ha 水稻作業受託 3.0ha <経営面積> 水 田 17.0ha (うち借地 5.0ha)	<主たる資本装備> ・作業舎兼格納庫(350㎡) 1棟 ・育苗ハウス(216㎡) 2棟 ・トラクター(30ps) 2台 ・代かきハロー(240cm) 2台 ・ライムソワー(245ℓ) 1台 ・作溝機(42cc) 1台 ・播種機(260箱/h) 1台 ・田植機(乗用型6条) 1台 ・ドローン 1/3台(3経営体共同利用) ・動力噴霧器(背負式) 1台 ・自脱型コンバイン(3条) 1台 ・循環型乾燥機(42石) 2台 ・糶摺機、選別計量器 1台 ・トラック 1台 <その他> ・高密度で播種・育苗する技術を導入して、コスト削減を図る。 ・ドローンによる効率的な病害虫防除を図る。
⑧ 水 稲 + 作業受託 + 施設野菜 (アスパラガス)	<作付規模等> 水稻 10.0ha 水稻作業受託 2.0ha アスパラガス 10.0a <経営面積> 水田 10.1ha (うち借地 0ha)	<主たる資本装備> ・作業舎兼格納庫(150㎡、39㎡) 2棟 ・育苗ハウス(216㎡) 1棟 ・トラクター 1台 ・田植機(乗用型6条) 1台 ・ドローン 1/3台(3経営体共同利用) ・自脱型コンバイン(3条) 1台 ・循環型乾燥機(32石) 2台 ・トラック(1t) 1台 ・パイプハウス(360㎡) 3棟 ・冷蔵庫 1台 ・管理機 1式 <その他> ・高密度で播種・育苗する技術を導入して、コスト削減を図る。 ・ドローンによる効率的な病害虫防除を図る。

経費管理の方法	農業従事の態様等	労働力
<ul style="list-style-type: none"> ・複式簿記の記帳により、経営と家計の分離を図る。 ・青色申告を行う。 ・PCを活用した経営管理 ・自己資本の充実を図る。 ・経営体内部の役割分担を図る。 ・「安全で美味しい島根の県産品認証制度」の生産工程管理基準又は国際水準GAPに基づく農場管理に取り組む。 	<ul style="list-style-type: none"> ・休日制や給料制を実施して、労働環境の充実を図る。 ・休息時間の確保、薬剤散布時の保護具の着用等により、作業の安全を確保する。 ・機械による事故を防止するため、運転日誌や点検・整備日誌等を作成し、記帳に基づいた適正な管理を行う。 	<ul style="list-style-type: none"> ・主たる従事者 1人 ・補助従事者 0人 ・年間雇用者 1人
<ul style="list-style-type: none"> ・複式簿記の記帳により、経理を明確にする。 ・青色申告を行う。 ・PCを活用した経営管理 ・自己資本の充実を図る。 ・法人化を視野に経営管理の強化を図る。 ・経営体内の役割分担を明確にする。 ・「安全で美味しい島根の県産品認証制度」の生産工程管理基準又は国際水準GAPに基づく農場管理に取り組む。 	<ul style="list-style-type: none"> ・休日制や給料制を導入する。 ・作業の安全性を確保するため休息時間の確保や薬剤散布時に装備品を着用する。 ・雇用者の福祉を図るため社会保険に加入する。 ・収穫・出荷選別等のピーク時の雇用労働力の確保を図る。 ・作業を快適とするため補助具の設置や換気等作業環境の改善を図る。 ・機械による事故を防止するため、運転日誌や点検・整備日誌等を作成し、記帳に基づいた適正な管理を行う。 	<ul style="list-style-type: none"> ・主たる従事者 1人 ・補助従事者 0人 ・年間雇用者 1人

経営類型	経営規模	生産方式
⑨	<作付規模等>	<主たる資本装備>
水 稲	水稲 15.5ha	・作業舎兼格納庫(350㎡、150㎡) 2棟
+	水稲作業受託	・育苗ハウス 2棟
作業受託	2.0ha	・トラクター(30ps) 2台
+	大豆 3.0ha	・田植機(乗用型6条) 1台
大豆	ビール麦 3.0ha	・ドローン 1/3台(3経営体共同利用)
+	キャベツ 1.5ha	・自脱型コンバイン(3条) 1台
ビール麦	タマネギ 1.5ha	・循環型乾燥機(42石) 2台
+		・トラック 1台
露地野菜		・作溝機 1台
(キャベツ+	<経営面積>	・中耕ローター 1台
タマネギ)	水田 20.0ha	・施肥播種機(3条) 1台
	(うち借地 0ha)	・大豆コンバイン 1台
		・マニユアスプレッダー 1台
		・全自動播種機 1台
		・全自動移植機 1台
		・乾燥施設 2棟
		・タマネギ堀取機 1台
		<その他>
		・高密度で播種・育苗する技術を導入して、コスト削減を図る。
		・ドローンによる効率的な病虫害防除を図る。
		・2年3作体系を確立する。

経費管理の方法	農業従事の態様等	労働力
<ul style="list-style-type: none"> ・複式簿記の記帳により、経理を明確にする。 ・青色申告を行う。 ・P Cを活用した経営管理 ・自己資本の充実を図る。 ・経営体内の役割分担を明確化する。 ・法人化を視野に経営管理の強化を図る。 ・「安全で美味しい島根の県産品認証制度」の生産工程管理基準又は国際水準G A Pに基づく農場管理に取り組む。 	<ul style="list-style-type: none"> ・休日制や給料制を導入する。 ・家族経営協定締結に基づく休日制や給料制の導入 ・作業の安全性を確保するため休憩時間の確保や薬剤散布時に装備品を着用する。 ・雇用者の福祉を図るため社会保険に加入する。 ・機械による事故を防止するため、運転日誌や点検・整備日誌等を作成し、記帳に基づいた適正な管理を行う。 ・収穫・出荷選別等のピーク時の雇用労働力の確保を図る。 ・作業を快適とするため補助具の設置や換気等作業環境の改善を図る。 	<ul style="list-style-type: none"> ・主たる従事者 1人 ・補助従事者 0人 ・年間雇用者 5人

経営類型	経営規模	生産方式
⑩ 水 稲 + 作業受託 + 露地野菜 (キャベツ + タマネギ)	<p><作付規模等></p> <p>水稲 10.0ha 水稲作業受託 2.0ha キャベツ 1.5ha タマネギ 1.5ha</p> <p><経営面積></p> <p>水田 11.5ha (うち借地 0ha)</p>	<p><主たる資本装備></p> <ul style="list-style-type: none"> ・作業舎兼格納庫(66㎡、150㎡) 2棟 ・育苗ハウス 3棟 ・トラクター(25ps) 1台 ・代かきハロー 1台 ・ライムソワー 1台 ・播種機 1台 ・田植機(乗用型6条) 1台 ・ドローン 1/3台(3経営体共同利用) ・動力噴霧器(背負式) 1台 ・自脱型コンバイン(3条) 1台 ・循環型乾燥機(32石) 2台 ・糶摺機、選別計量器 1台 ・トラック 1台 ・中耕ローター 1台 ・施肥播種機 1台 ・マニュアルプレッダー 1台 ・全自動播種機 1台 ・全自動移植機 1台 <p><その他></p> <ul style="list-style-type: none"> ・高密度で播種・育苗する技術を導入して、コスト削減を図る。 ・ドローンによる効率的な病害虫防除を図る。

経費管理の方法	農業従事の態様等	労働力
<ul style="list-style-type: none"> ・複式簿記の記帳により、経営と家計の分離を図る。 ・青色申告を行う。 ・PCを活用した経営管理 ・自己資本の充実を図る。 ・経営体内部の役割分担を図る。 ・「安全で美味しい島根の県産品認証制度」の生産工程管理基準又は国際水準GAPに基づく農場管理に取り組む。 	<ul style="list-style-type: none"> ・休日制や給料制を実施して、労働環境の充実を図る。 ・休息時間の確保、薬剤散布時の保護具の着用等により、作業の安全を確保する。 ・機械による事故を防止するため、運転日誌や点検・整備日誌等を作成し、記帳に基づいた適正な管理を行う。 	<ul style="list-style-type: none"> ・主たる従事者 1人 ・補助従事者 0人 ・年間雇用者 2人

(2) 組織経営体

経営類型	経営規模	生産方式
<p>①</p> <p>水稻 (有機米 + 特別栽培米)</p>	<p><作付規模等></p> <p>有機米 6.0ha 特別栽培米 6.0ha</p> <p><経営面積></p> <p>水田 12.0ha (うち借地 12.0ha)</p>	<p><主たる資本装備></p> <ul style="list-style-type: none"> ・作業舎兼格納庫 (150m²) 1棟 ・育苗ハウス (216m²) 1棟 ・トラクター (30ps) 1台 ・代かきハロー 1台 ・ブロードキャスター (2000) 1台 ・畦塗機 (25ps) 1台 ・温湯消毒機 1台 ・播種機 (260箱/h) 1台 ・乗用多目的田植機 (6条) 1台 ・水田除草機 (6条) 1台 ・動力噴霧器 (背負式250) 1台 ・コンバイン (3条刈) 1台 ・循環型乾燥機 (42石) 1台 ・籾摺機 1台 ・色彩選別機 1台 ・選別計量機 1台 ・作溝機 (乗用) 1台 ・トラック (1t) 1台 <p><その他></p> <ul style="list-style-type: none"> ・有機栽培技術の習得 ・除草、病害虫対策の徹底 ・播種、収穫・調整等適期作業の励行

経費管理の方法	農業従事の態様等	労働力
<ul style="list-style-type: none"> ・複式簿記記帳を行う。 ・青色申告を行う。 ・PCを活用した経営管理 ・組織内部の役割分担を図る。 ・組織の継続性を確保するため、経営・販売戦略の樹立に努める。 ・自己資本の充実を図る。 ・「安全で美味しい島根の県産品認証制度」の生産工程管理基準又は国際水準GAPに基づく農場管理に取り組む。 	<ul style="list-style-type: none"> ・3名程度のオペレータを確保し、労働集中時の危険分散を図る。 ・女性、高齢者、兼業農家など多様な人材を登用し、組織内労働力を確保する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・主たる従事者 (オペレータ) 1人 ・補助従事者 (オペレータ) 2人 (構成員) 1人

経営類型	経営規模	生産方式
⑫ 水 稲 + 作業受託 + 大豆 + ビール麦 + 露地野菜 (ブロッコリ ー+ タマネギ)	<作付規模等> 水稲 21.0ha 水稲作業受託 2.0ha 大豆 6.0ha ビール麦 6.0ha ブロッコリー 3.0ha タマネギ 3.0ha <経営面積> 水田 30.0ha (うち借地 30.0ha)	<主たる資本装備> ・作業舎兼格納庫(350㎡、150㎡) 2棟 ・育苗ハウス 2棟 ・トラクター(30ps) 2台 ・田植機(乗用型6条) 1台 ・ドローン 1/3台(3経営体共同利用) ・自脱型コンバイン(3条) 1台 ・循環型乾燥機(42石) 2台 ・トラック 1台 ・中耕ローター 1台 ・施肥播種機(3条) 1台 ・大豆コンバイン 1台 ・マニユアスプレッダー 1台 ・全自動播種機 1台 ・全自動移植機 1台 ・乾燥施設 2棟 ・タマネギ堀取機 1台 <その他> ・高密度で播種・育苗する技術を導入して、コスト削減を図る。 ・ドローンによる効率的な病害虫防除を図る。 ・タマネギは機械化体系を導入して省力化を図る。 ・2年3作体系を確立する。
⑬ 水 稲 + 大 豆 + 施設野菜 (ミニトマト) + 露地野菜 (白ねぎ)	<作付規模等> 水 稲 10.0ha 大豆 6.0ha ミニトマト 10.0a 白ねぎ 1.0ha <経営面積> 水 田 17.1ha (うち借地17.1ha)	<主たる資本装備> ・作業舎兼格納庫(150㎡) 2棟 ・育苗ハウス 3棟 ・トラクター(25ps) 1台 ・田植機(乗用型6条) 1台 ・ドローン 1/3台(3経営体共同利用) ・自脱型コンバイン(3条) 1台 ・循環型乾燥機(32石) 2台 ・トラック 1台 ・中耕ローター 1台 ・大豆コンバイン 1台 ・ネギ管理機 1台 ・パイプハウス(耐雪型:360㎡) 3棟 ・養液栽培システム 1式

経費管理の方法	農業従事の態様等	労働力
<ul style="list-style-type: none"> ・複式簿記記帳を行う。 ・青色申告を行う。 ・P Cを活用した経営管理 ・組織内部の役割分担を図る。 ・組織の継続性を確保するため、経営・販売戦略の樹立に努める。 ・自己資本の充実を図る。 ・「安全で美味しい島根の県産品認証制度」の生産工程管理基準又は国際水準G A Pに基づく農場管理に取り組む。 	<ul style="list-style-type: none"> ・3名程度のオペレータを確保し、労働集中時の危険分散を図る。 ・女性、高齢者、兼業農家など多様な人材を登用し、組織内労働力を確保する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・主たる従事者 (オペレータ) 3人 ・補助従事者 (構成員) 10人
<ul style="list-style-type: none"> ・複式簿記記帳を行う。 ・青色申告を行う。 ・P Cを活用した経営管理。 ・組織内部の役割分担を図る。 ・組織の継続性を確保するため、経営・販売戦略の樹立に努める。 ・自己資本の充実を図る。 ・「安全で美味しい島根の県産品認証制度」の生産工程管理基準又は国際水準G A Pに基づく農場管理に取り組む。 	<ul style="list-style-type: none"> ・3名程度のオペレータを確保し、労働集中時の危険分散を図る。 ・女性、高齢者、兼業農家など多様な人材を登用し、組織内労働力を確保する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・主たる従事者 (オペレータ) 3人 ・補助従事者 (構成員) 10人